

三重県

令和4年度 DX寺子屋  
第9回 現場改善コース  
2022年10月26日

東京大学グリーンICTプロジェクト（GUTP）ステアリング委員  
株式会社GUTPコンサルティング 代表  
（金型屋二代目） 中島高英

©2022 GUTP CONSULTING

1

1

グループ学習にあたり

©2022 GUTP CONSULTING

2

2

## DX寺子屋でお伝えしたかったこと

- ・DX寺子屋では**データ**を用いて、**自分事**として考えること。
- ・データを自分事として考えるにあたり、**カーボンニュートラルへの取り組み**こそ絶好の機会である。**特にEP100は重要**である。
- ・EP100は**DXという道具**を使うとよい。
- ・DXという道具を使う時に、**生産性、リードタイム、自動化率の指標を用いる**とよい。
- ・グループ学習は「**講義**」から**自分たちで考えることを経験すること**。

## グループ学習にあたり

### グループ学習の意義

一人では感じられない、喜びを経験できること。

→コツは「**他の人に役立つ事**（発言やちょっとした行動）をする」

### グループ学習の目的

仲間づくり

データを取る、データで考える、人に伝えるという大変さを共有する。

### グループ学習の効果

会社に持ち帰り、グループ学習を試めせる。

☆ **Think together**  
**(一緒に考えましょう)**

☆ **Challenge together**  
**(一緒に取組みましょう)**